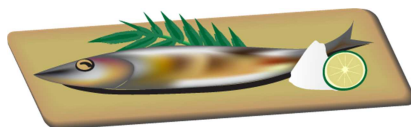


県中農林事務所 農村整備部トピックス 9月号



○ 竹下 亘^{わたる} 復興大臣が藤沼ダムを視察

東日本大震災では日本の歴史上初めてダム決壊による犠牲者を出してしまいました。戦前に着工し昭和24年に完成、837ヘクタールの水田に農業用水を供給していた藤沼ダムです。現在この復旧工事は最新の農業土木技術を駆使して、農村整備部が進めています。

さる9月6日（日）に県内の復興状況を視察中の竹下復興大臣が復旧工事の現地を訪れました。管内で残された最後の復旧工事であるダム工事の進捗について、浅野県中農林事務所長の説明を受け、早期の完成に向けて関係者の一層の尽力を督励していきました。

現在の復旧工事の進捗は54%、平成28年度末の竣工に向けて工程管理を徹底し工事の進捗を図ることとしております。



○ 藤沼ダムに高校生の見学続く

9月14日（月）、二本松工業高校都市システム科の一年生38名が現地見学を訪れました。案内したのは鈴木農村整備課長・藤沼ダム復旧チームの職員。

藤沼ダム工事は県が進める大規模な復旧工事であるため、平成25年10月に着工して以来全国から大勢の見学者を受け入れています。こうした高校生を対象とした説明会は、未来の農業土木技術者の育成に大いに役立つものと期待しています。

